

## ■イザヤ木原真(神のしもべ長崎教会/牧師)

2017年10月30日から11月11日まで約2週間、イスラエルにチームが派遣されました。アメリカからの参加者や部分参加も含めると65名のチームでした。

今回はエルサレムに到着してすぐに、トム・ヘス氏との久しぶりの再会が、はじめに与えられました。さらに11月4日土曜日の新年度担って最初の礼拝が、ロシア系ユダヤ人の教会のシャバット礼拝で、ほぼ全員が参加し、合同礼拝のような形で礼拝を捧げることになり、彼らとの関わりが深められました。この時、賛美隊の奉仕がとて祝福されました。またパウロ秋元牧師がメッセージをされましたが、それがオンライン配信される中で、日本語・英語・ロシア語で、世界中に福音が宣べ伝えられることになり、多くの方々がそのメッセージを聞かれました。

21世紀における新しい宣教の形を、主が見せてくださったと思います。

最後の夜の11月9日には、エルサレムでポーランドの教会の方々との交わりが与えられました。夜の9時に私たちの最後の聖会を終えてから、タクシーに乗り、ポーランドの方々泊まっているホテルに向かいました。彼らとの交わりは、とても深い主の御臨在の中、ポーランドの牧師の方が「預言を通して語られたことの成就としてイスラエルに来ることができた」と証され、深い感動が与えられました。チームとの交わりは短い時間でしたが、多くの方々が感動の涙を流しながら、満面の笑顔で交わることができ、非常に祝福された時となりました。個人的には、今回の派遣の中で一番感動した時でした。

このように、実に盛りだくさんの祝福の中、11月1日には、はっきりとした虹のような彩雲が、エルサレムで、オリーブ山の上の空にしるしのように現れ、深い感動とともに、とても象徴的な新年のスタートとなりました。

今年からはガリラヤ湖畔での新年度礼拝とアルベル山での礼拝が生中継され、日本をはじめ全世界とともに礼拝に参加し預かることができました。これも今までとは違い、リバイバルが始まってきて途中で、大きく次の段階へと働きが進んだことを思われました。

また今年度のみ言葉として、「マルコの福音書11:22-24」が与えられるとともに、24時間連鎖祈禱を「感謝と賛美」の祈りの香を燃やし続けることであることが示されました。この24時間連鎖祈禱は、リバイバルの中での大収穫とも大きく関わってくると思わされます。

リバイバルが始まり、進んでいる中で今回のイスラエル派遣は、さらに大きく21世紀の宣教の扉を開く鍵となった派遣であったと思われました。

このイスラエル派遣チームは、皆様の多くのとりなしに支えられ、あらゆる危険から守られました。皆様の尊いとりなしのお祈りを心から感謝いたします。

## ■菅卓也(札幌フィラデルフィア教会/牧師)

主の御名をほめたたえます。新年度の始まりから素晴らしい恵みを与えてくださった神さまに心から感謝いたします。お祈りくださった皆様に心から感謝いたします。

私は今回の派遣に参加する前に「あなたはあなたの神に会う備えをせよ。」(アモス書4：

12) との思いが与えられていました。思いの内に与えられた御言葉が、神に会う備えをせよ。とのことだったので、もしかして私も父のように今回のイスラエル派遣で召天するのだろうか?などと思いめぐらせながら参加することになりました。

チーム出発の初日のデボーションで神さまから「隠された奥義としての神の知恵」(I コリント 2 : 7) の御言葉が私の思いに与えられました。

私は、昨年もそうでしたが今年も祈り込むことが導かれましたので、ツアーには参加せず、エルサレムではオリーブ山で、ガリラヤではホテルで、祈りと賛美をもって神さまとゆっくり交わりをするという素晴らしい恵み祝福の時が与えられました。

オリーブ山で祈ることができたことは、本当に素晴らしい恵み祝福でした、初日のオリーブ山での祈りの中で神さまから「神の知恵」を熱心に求めなさい、「御霊の賜物」を熱心に求めなさいとの語りかけが与えられたように思いました。そのために今回は、「神の知恵」が与えられるように、「御霊の賜物」が与えられるように、オリーブ山でもガリラヤでもバスでの移動中でも派遣中ずっと祈り求め続けました。欲張って御霊の賜物(9つ)すべてが与えられるように神さまに祈り求め続けました。

神さまは、新年度の始めの11月1日に虹(彩雲)のしるしを現して祝福してくださいました。

ロシア系ユダヤ人の教会の礼拝に初めて参加でき、とても素晴らしい恵みが与えられました。

新年度の初めのガリラヤ湖畔での主日礼拝を、神さまがものすごく祝福してくださいました。

私も主の恵みによって、新年度与えられた御言葉「祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」(マルコ 11 : 24) から、祈って求めたものがすべて、すでに受けたと信じ、そのとおりになったと受け取りました。

夜の聖会で語られたメッセージを通して、神さまからのたくさんの語りかけが与えられ祝福されました。

ガリラヤでは、昼食でパゴダというタイ料理のお店に3回も行くことができ、とてもおいしい料理をいただくという恵み祝福も与えてくださり感謝でした。

今回のイスラエルチームでの私への神さまの恵み祝福は、他にもありました。私は、チーム本体が帰国した後も3日間イスラエルに残ることになってしまったのです。どうしてかというと、神さまの許しによって病院に行くことになってしまったのです。それも私の父が2年前に入院して、そこで召天したその病院でした。

派遣に参加する前に思わされた、私も父と同じように、ここで召天することになるのかな?との思いが湧いてきましたが、神さまの御心はそうではありませんでした。このことが許されたことで、私にとってはとても貴重な神さまからの取り扱い、恵み祝福の時が与えられました。この恵みについてはいつの日か証しできたらと思います。

何はともあれ、3日遅れで無事に帰国することができました。お世話になりました皆様

に心から感謝いたします。ありがとうございました。とりなしのお祈りをしてくださった皆様に心から感謝いたします。素晴らしい恵みを与え祝福し導いてくださった主に心から感謝いたします。